

北海道浮魚ニュース

平成 29(2017)年度 4 号

2017 年 6 月 5 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎マサバ・マイワシ漁場調査結果

サバ類は 31cm 台、マイワシは 19cm 台が主体

ともに、昨年よりやや大きい

昨年よりロシア主張 200 海里内でのさけ・ます流し網漁業が禁止となり、その代替漁業として 19 トン型棒受網漁船によるサバ類・マイワシを対象とした漁業が行われることになりました（もうかる漁業創設支援事業）。このため、釧路水産試験場では 5 月下旬に調査を実施し、その結果をお知らせします。

調査期間：2017 年 5 月 29 日～6 月 2 日

調査方法：CTD による海洋観測および流し網による漁獲試験

調査海域と調査点 (St.) (表 1, 図 1)：北緯 41 度以北、襟裳岬以東の 3 点

1. 水温分布 (表 1, 図 1)

各調査点の表面水温は、St. 1 では 7.8℃と他の点より低く、St. 3, 5 は 10.6℃でした。表面水温が 10℃以上となった St. 3, 5 では、水深 30m をみると、St. 3 で 3.9℃, St. 5 で 1.8℃となっており、ごく表層での鉛直水温差が大きくなっています (表 1)。

表面水温図 (図 1) をみると、2016 年は北緯 42 度以南まで表面水温が 10℃以上となっていました。2017 年は、東経 144～145 度 30 分の範囲では、10℃以上の範囲が北緯 41 度 (St. 3) までしか達しておらず、2017 年の調査海域の表面水温は昨年よりも低く推移しています。東経 146 度以東では、北緯 41 度 30 分付近 (St. 5) まで 10℃以上の範囲が広がっています。

2. 漁獲尾数 (表 1, 図 1)

流し網による漁獲試験の結果、サバ類の総漁獲尾数は 448 尾 (St. 3 : 169 尾, St. 5 : 279 尾)、マイワシは 8,778 尾 (St. 3 : 3,196 尾, St. 5 : 5,582 尾)、サンマは St. 5 の 2 尾でした。St. 1 は、2016 年の同地点 (St. 1, 表層水温 16.0℃) で浮魚類の漁獲があった点にて実施しましたが、今年度は、浮魚類の漁獲がありませんでした。

3. 体長組成 (図 2, 3)

サバ類の尾又長は、28～34cm が多く、地点間で比較すると St5 のほうが St. 3 よりも大きい傾向が見られました。昨年と比較すると、モードが約 2cm 大きく 30cm を超える個体の割合も高くなりました。

マイワシの体長は、18～20cm が多く、St5 では体長 20cm を超える個体の割合が高くなりました。昨年と比較すると、モードが約 2cm 大きくなり、体長 15cm 以下の個体はほとんど見られませんでした。

表 1 2017 年サバ類・マイワシ漁場調査の結果

調査点	位置		水温℃					漁獲尾数				揚網
	緯度E	経度N	0m	10m	20m	30m	50m	サバ類	マイワシ	カタクチイワシ	サンマ	月日
St. 1	41-32	144-31	7.8	7.9	7.4	5.0	3.0	0	0	0	0	2017/5/30
St. 3	41-04	145-22	10.6	9.1	4.8	3.9	2.6	169	3,196	0	0	2017/5/31
St. 5	41-25	146-02	10.6	9.2	6.3	1.8	2.6	279	5,582	0	2	2017/6/1
魚種計								448	8,778	0	2	

※マサバ、ゴマサバ区別せずに、サバ類として扱っています

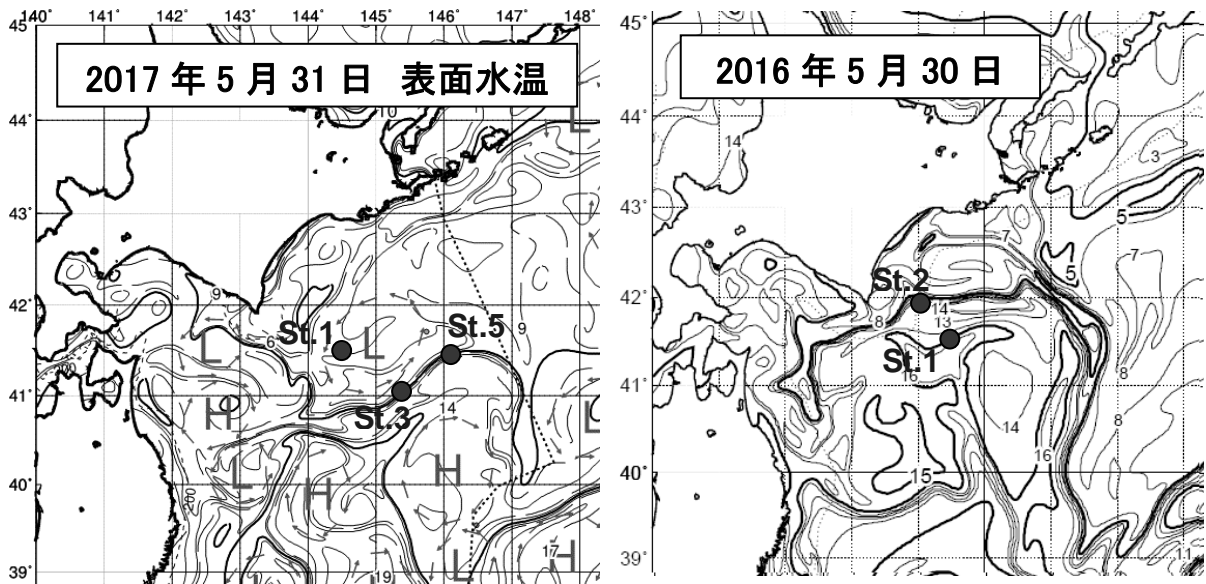


図1 2017年および2016年のマサバ・マイワシ漁場調査における調査点
(水温図は、漁業情報サービスセンター発行の水温図を改変)

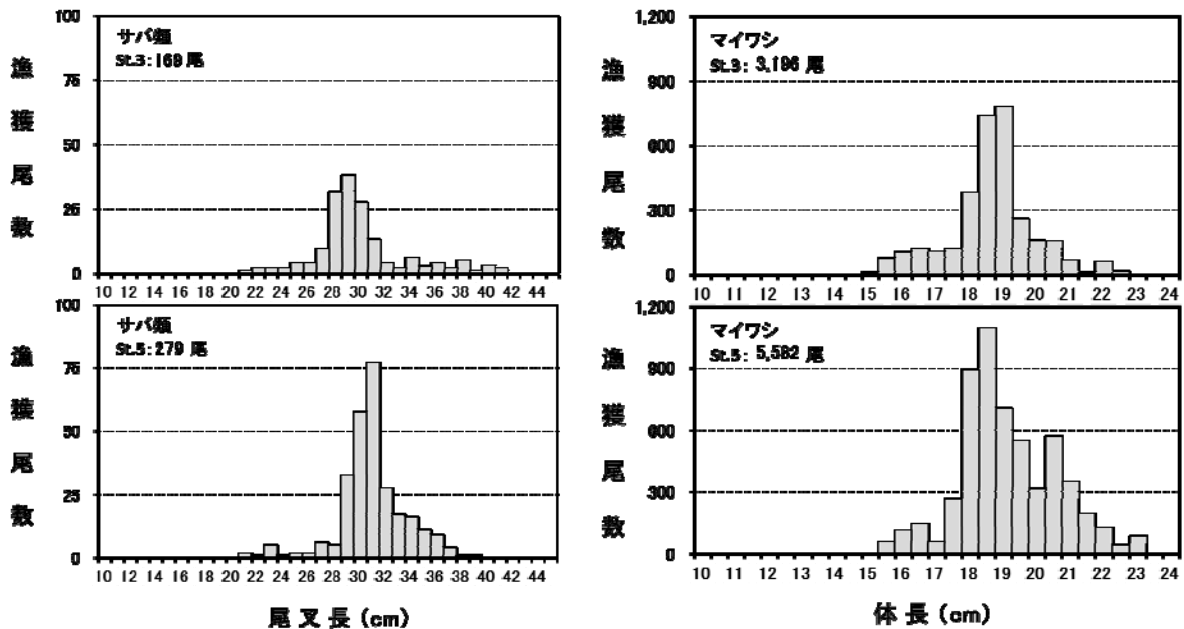


図2 2017年マサバ・マイワシ漁場調査における漁獲物の体長組成

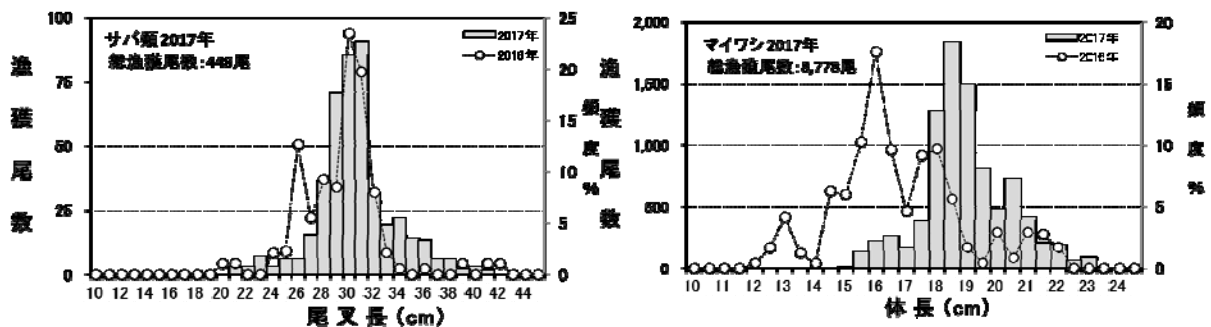


図3 サバ類およびマイワシの体長組成の昨年との比較
(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)